



うちでは働き方を
変えられないため
会社を退職すると
聞いています

あいつはがんです



ただ 本人は
仕事を続けたいと
言っています
それに あいつの
存在は我が社に
必要なんです



主治医が
働き続けられる
治療を提案して
くれましたが
我が社の
規則では…



治療と仕事の

\\ ご存じですか? 「治療と仕事の両立支援」 //

岩手 両立支援セミナー 開催

入場
無料

2019.12.16 (月) 13:30~
岩手教育会館 (ホールA)

お申込みは、下記のURL
または裏面の用紙に必要
事項を記入のうえFAXで



ぜひ行かなくては！
治療と仕事の両立に
踏み出すために！



「治療と仕事の両立支援
ナビポータルサイト」

治療 両立ナビ 検索

<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp>



厚生労働省 岩手労働局

岩手県地域両立支援推進チーム

治療と仕事の

岩手 両立支援セミナー

募集人数 **100名**

入場無料

「治療と仕事の両立支援」とは、病気の治療を行いながら仕事を続けることを支援するための取組です。この度のセミナーでは「治療と仕事の両立支援」の具体的な進め方や留意すべきポイント、もたらす効果などについて、企業と医療機関の皆さまにわかりやすくご紹介いたします。是非ご参加ください。

日時：**2019年12月16日(月) 13:30～**(13:00～ 受付開始)

会場：**岩手教育会館(ホールA)**(盛岡市大通1丁目1番16号)

■基調講演 治療と仕事の両立支援に向けて(仮)

村本高史氏 サッポロビール株式会社 人事部 プランニング・ディレクター

1987年サッポロビール入社。マーケティング部門と人事部門を交互に経験後、40代は人事部門のグループリーダーを歴任。2009年、44歳の時に頸部食道がんを発症し、放射線治療で寛解。2011年、人事総務部長を務めていた際にがんが再発し、手術で食道を再建すると共に、声帯を含む喉頭を全摘。その後、食道発声法を習得し、話せるようになる。2014年秋以降、創造変革職(専門職)としてコミュニケーション強化等の組織風土改革に取組みつつ、闘病体験や思いを語る「いのちを伝える会」を社内等で開催。

現在は社外でも講演等を行う他、厚生労働省「がん対策推進協議会」委員も務めている。

■取組事例紹介(企業・医療機関)

株式会社小田島組 株式会社北日本朝日航洋 岩手医科大学附属病院

■岩手産業保健総合支援センターからのご案内

参加申込書

下記項目をご記入のうえ、FAXでお申込みください。

フリガナ			
お名前			
団体名 または勤務先		所属・部署名	
あなたの職種について 該当する□にチェック してください。	<input type="checkbox"/> ①企業関係者	<input type="checkbox"/> ②産業医・産業保健スタッフ	<input type="checkbox"/> ③医療従事者
	<input type="checkbox"/> ④行政機関	<input type="checkbox"/> ⑤報道・メディア	<input type="checkbox"/> ⑥その他
電話番号		FAX番号(必須*)	

※当選通知はFAXでお送りするため、FAX番号の記載がない場合には応募を無効とさせていただきます。

注意事項

- 当選者には開催日の10日前を目途に、当選通知をお送りします。応募に関する通信費はご応募される方のご負担となります。
- 当日は、記録のために撮影を行います。あらかじめご了承ください。
- セミナーの内容は都合により変更する場合があります。
- 災害時、悪天候時はセミナーを中止させていただく場合があります。

FAX: **03-5550-6530**

申込締切: **2019年12月2日(月)**

「治療と仕事の両立支援ナビ」からも申し込みいただけます。

治療 両立ナビ 検索 <https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp>



お問い合わせ先: 治療と仕事の両立支援セミナー事務局 (TEL 03-5550-0735)